

国労本部電送No.75	発信日	発信	責任者	受領者
	2024年11月18日	企画部		

指示第23号  
2024年11月18日

エリア本部  
各 執行委員長 殿  
地方本部

国鉄労働組合  
中央執行委員長 松川 聡

(一財)国鉄労働会館 主催  
「交通運輸関連労働者を対象とした中央労働講座」の受講について

1990年代後半以降、働く者の所得水準が低下する一方で、「企業活動の自由」の名のもとに構造改革や規制緩和を旗印としながら、非正規雇用や格差の拡大、さらにはワーキングプアと呼ばれる貧困層の増加が一気に進んできた。名目GDPは600兆円を超えたが、この間の輸入インフレによるしわ寄せは、相次ぐ物価高騰などによって、生活者と中小企業などに多くの悪影響を及ぼしている。財務省「法人企業統計」によると、日本全体の経常利益の6割を資本金10億円以上の大企業が占め、売上高経常利益率も堅調に伸び続けており、いまこそ労働組合が声を大にしながら、自社の労働者のみならず、グループ・関連会社を含め、すべての働く仲間の「格差是正」と暮らしの「底上げ」を経営側に強く迫る役割が求められている。

これまで(一財)国鉄労働会館は、労働者の相互親睦と福利厚生など社会的ニーズに応えた福祉の向上に努力を重ねるとともに、労働組合の基礎学習、有期雇用問題や働き方改革、規制緩和と政策の矛盾やアスベスト健康被害の実態、憲法や年金問題、さらに企業における財務分析など多岐にわたって幅広く労働講座を開催してきた。

今回はかかる情勢を受けて、2025春闘をめぐる情勢と労働組合の役割について学習を深めるため、下記の要領により、中央労働講座を開催するので、各エリア・地方本部は積極的に受講者を募られたい。

記

1. テーマ 「25春闘をめぐる情勢と労働組合の役割について」
2. 講師 松上 隆明氏(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)
3. 日時 2025年1月26日(日) 16時30分～18時00分
4. 会場 交通ビル・B1F会議室  
住所)東京都港区新橋5-15-5 交通ビル Tel) 03-3437-6733
5. 主催 一般財団法人 国鉄労働会館
6. 定員 交通運輸産業労働者を対象に100名の募集
7. 対象者 第195回拡大中央委員会構成員とする。なお、受講については傍聴者も可能とする。

以上